

平成23年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書

田川市教育委員会

目 次

第1	はじめに	1
第2	点検・評価の考え方について	2
第3	自己点検・評価について	
1	教育委員会の活動実績について	2
2	教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について	
(1)	学校教育課	5
	教育研究所	18
(2)	教育総務課	24
(3)	生涯学習課	26
(4)	文化課	33
第4	資料	
	教育委員会会議議案一覧(資料1)	39
	教育委員会会議報告等一覧(資料2)	41
	教育委員研修会等参加状況(資料3)	42
	教育委員学校訪問日程(資料4)	44
	教育委員会委員名簿(資料5)	46

第1 はじめに

1 教育委員会の事務の点検・評価制度の導入について

平成18年12月、制定以来約60年ぶりに教育基本法の全部が改正されました。これに伴い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部も改正、施行され、教育委員会は、毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとなりました。

教育委員会は、地域の教育課題や教育ニーズに応じた基本的な教育の方針・計画を策定し、これらに基づいて実施した政策について、その必要性、効率性等の観点から自ら点検・評価を行っています。この点検・評価制度は、多様に変化する社会情勢や教育改革の動向を見据え、政策立案を的確に行うことに直結していきます。また、その結果を公表することは、市民に対する説明責任を果たすことで、市民の信頼を高め、開かれた教育行政を推進していくうえで非常に重要なことです。

この報告書は、平成23年度の教育委員会活動を、本市教育委員会が年度毎に作成している「田川市教育施策方針」に掲げた具体的な施策内容等と照らして、教育委員会自らがその進捗状況等について、点検・評価を実施し作成したものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会制度の概要について

(1) 教育委員会制度の仕組み

教育委員会は、首長から独立した行政委員会と位置付けられ、地域の学校教育、社会教育、文化、スポーツ等に関する事務を担当する、教育委員による合議制の執行機関として、すべての都道府県及び市町村等に設置されており、教育行政における重要事項や基本方針を決定しています。教育委員会を組織する教育委員は、首長が議会の同意を得て任命します。

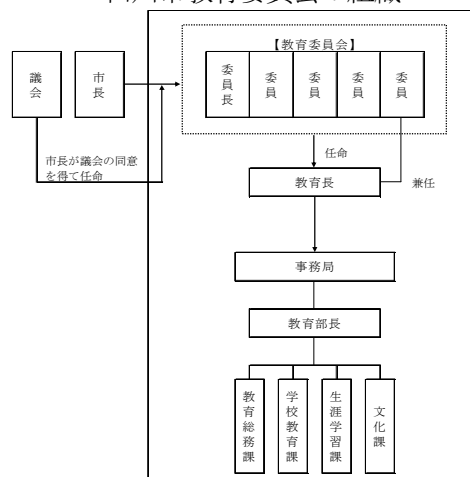
また、教育長は、教育委員のうちから教育委員会が任命し、教育委員会で決定した重要事項等に基づき、教育委員会の事務を執行します。

(2) 教育委員会制度の意義

教育委員会制度の意義としては、教育における政治的中立性の確保や継続性・安定性の確保、地域住民の意向の反映などが挙げられます。

教育委員会は、地方における教育行政の中心的な担い手として、その役割を果たすことが求められています。

一田川市教育委員会の組織一



第2 点検・評価の考え方について

1 点検・評価の方法

点検・評価に当たっては、施策・事業等の内容と実績を明らかにするとともに、成果と課題等を示しています。

2 点検・評価結果の構成

(1) 点検・評価の対象

ア 教育委員会の活動状況

イ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務（自己点検・評価シート）

「平成23年度教育施策方針」に掲げる主要課題を点検・評価の対象としています。

(2) 点検・評価の対象期間

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで（平成23年度）としています。

(3) 点検・評価における内容及び成果

各項目の目標達成に向けて取り組んだ内容、成果、課題等を示しています。

(4) 評価

自己点検・評価シートについては、教育施策方針に掲げた主要課題に対する実施及び進捗状況等を踏まえ、AからDの4段階評価を行っています。

【評価判断基準】

A…著しい成果が得られた

B…概ね良好な成果が得られた

C…あまり成果が得られなかった

D…成果が得られず、課題を残した

3 担当課

自己点検・評価シートについては事業を実施した担当課が点検・評価を行いました。

4 学識経験者の知見の活用について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項に規定する「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」を図ることから、今回の評価を行うに当たっては、次の方に依頼し、評価いただきました。

田川市立学校学校評議員・西 朝義氏、田川市PTA連合会会長・牛嶋博昭氏、田川市活性化協議会会長連絡会座長・栗本康雄氏、田川市公民館連絡協議会会長・高橋昭朗氏、田川市青少年育成連絡協議会会長・二場浩隆氏、田川市体育協会会長・永岡 勉氏、田川市立図書館協議会委員兼田川市石炭・歴史博物館等運営協議会委員・是澤清一氏、田川市美術館協議会委員・片岡 覺氏。

第3 自己点検・評価について

1 教育委員会の主な活動実績

(1) 教育委員会会議の実施

田川市教育委員会会議規則第3条の規定に基づき、定例会は毎月1回、臨時会は必要に応じて開催し、教育行政に関する事項を審議しました。

ア 開催実績 定例会：12回 臨時会：2回 合計：14回

イ 議決の状況【教育委員会会議議案一覧：資料1】

議案の内容	件数
基本方針等の策定、事務の管理・執行状況の点検評価	2
教職員の人事関係	1
教育委員会規則等の制定・改廃	1 1
予算、条例等議会議決事項	1 1
教科書の採択等	1
審議会委員等の任免・委嘱	9
その他	9
合 計	4 4

ウ 報告事項等【教育委員会会議報告等一覧：資料2】

報告：7件 事務報告：12件 合計：19件

エ 平成23年度傍聴者状況

開催月	種類	傍聴者数	開催月	種類	傍聴者数	開催月	種類	傍聴者数
4月	定例	0名	10月	定例	0名	2月	定例	0名
5月	定例	0名	10月	臨時	0名	3月	定例	0名
6月	定例	1名	11月	定例	0名	-	-	-
7月	定例	1名	12月	定例	0名	-	-	-
8月	定例	3名	12月	臨時	0名	-	-	-
9月	定例	0名	1月	定例	0名	合計	14回	5名

オ 広報活動状況

定例教育委員会会議開催日時については、教育庁舎玄関前へ掲示し、また広報たがわ及びホームページへも掲載することにより周知を図っています。

また、教育委員会のしくみや教育委員会委員の紹介、事務局各課の事業内容等もホームページへ掲載しています。

(2) 教育委員会と市長部局との連携

猪位金校区小中一貫校の開校等について、進捗状況等の報告を兼ね、市長と教育委員とで意見交換会を行いました。

(3) 教育委員の自己研鑽、他自治体との連携、情報交換等

ア 研修会への参加等【教育委員による研修会等参加状況：資料3】

福岡市で開催された第55回、第56回福岡県市町村教育委員会女性教育委員研修会や、大牟田市で開催された福岡県市町村教育委員会連絡協議会教育長研修会、熊本市で開催された第9回九州地区市町村教育委員研修大会に参加し、資質向上に努めました。また、猪位金校区小中一貫校の整備に向けて、東峰学園と、八女市立上陽北ぜい学園を訪問し、意見交換を行いました。

イ 他自治体との連携、情報交換等【教育委員による研修会等参加状況：資料3】

毎月開催される筑豊管内教育長会議に教育長が出席し、出席者との情報交換や研究協議を行いました。

(4) 学校訪問【教育委員学校訪問日程：資料4】

年次計画に基づく定例的なものとして、5月に小学校3校と中学校3校を訪問しました。6月、10月、11月には小学校2校と中学校2校の授業充実学校訪問に参加しました。また、教育委員の校区担当制を取り入れ、委員が担当の学校を訪問することによって、「①学校と教育委員との結びつきを深める。」「②教育委員としての資質向上に努める。」「③各学校の取組を交流しながら教育委員の学習会を実施する。」以上3つを目指すことにしました。その他、入学式、卒業式、体育祭、文化祭等の学校行事に出席し、式典でのあいさつ、校内の視察、学校関係者との懇談等を行いました。

(5) 教育施設訪問

成人式、公民館まつり、コールマイン・フェスティバル（炭坑節まつり）等所管施設で行われる行事に出席し、式典でのあいさつ、イベントへの参加、施設内の視察及び関係者との懇談等を行いました。

2 活動の評価

(1) 教育委員会会議内容について

教育委員会会議日前に事前配付された資料等について、会議前に案件への理解を深め、会議には教育部長、課長、教育研究所長等が出席し、議案、事務報告など、案件の説明を行い、適切かつ慎重に審議を行いました。

また、審議の中で、委員間及び事務局との活発な意見交換を行い、よりよい田川市の教育行政の実践に向け、改善点や要望を示しました。

(2) 教育委員会会議等の情報公開について

開催日等の情報については、事前に各媒体によりお知らせし、市民に開かれた教育委員会を目指しました。会議は田川市教育委員会会議傍聴人規則に基づき、傍聴することができるとともに、会議の議題・審議結果をホームページへ掲載し、詳細な会議録は求めに応じて公開しています。

また、教育委員会の活動についても、ホームページにおいて公開しています。

今後もさらに開かれた教育委員会を目指します。

(3) 自己研鑽及び情報交換等について

教育委員を対象にした研修会や協議会等に積極的に参加し、自己研鑽に努めました。また、研修会や協議会等に出席している他市町村教育委員会の教育委員をはじめとする関係者と交流を行い、教育行政について情報交換を行いました。

(4) 施設等の訪問について

学校、教育施設等で開催される各種行事へ積極的に出席し、教育現場の実情把握に努めました。また、その中で教員等関係者との懇談や情報交換を行い、積極的に情報収集を行いました。

平成23年度 田川市教育委員会 自己点検・評価シート

[重点施策] 第Ⅲ期学力向上プロジェクトへ向けて、第Ⅱ期の総まとめと組織の充実及び教員の指導力の向上

主要課題	第Ⅲ期学力向上プロジェクトへ向けて、第Ⅱ期の総まとめと組織の充実及び教員の指導力の向上	
担当課	学校教育課	
課題対策の 具体化	学力向上プロジェクト報告会の実施と第Ⅱ期のまとめ、及び課題の把握をする	
実績	成果	<p>◆10月に、学力向上プロジェクト報告会を弓削田小・弓削田中校区、後藤寺小・大浦小・後藤寺中校区の2校区で実施し、それぞれの校区の学力向上プロジェクトの取組状況や成果を明らかにすることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●データに基づく校区の実態に応じた教育内容づくり ●小・中連携した教育内容づくり ●地域の教育力を生かした教育内容づくり <p>◆第Ⅱ期までの成果や課題を明らかにするためのアンケート調査を実施し、これまでの成果と第Ⅲ期に向けての課題を明らかにすることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全校対象としたアンケートの実施 ●アンケートの集約と分析結果の整理 ●アンケート結果をもとにした第Ⅲ期方向性の論議
	課題	◆プロジェクト報告会で取り組まれた実践を市内の他校区へも広げ、継続的・発展的にプロジェクトの取組を充実させていく必要がある。
課題対策の 具体化	第Ⅲ期学力向上プロジェクトへ向けて、プロジェクトチームの組織を充実させ、実効ある学力向上に取り組む	
実績	成果	<p>◆学力向上プロジェクト推進委員会事務局の十分な論議を経て、プロジェクト運営に関する企画・立案・提案等を行うことができた。</p> <p>各校代表者からなる学力向上プロジェクト合同会議を設置し、学校現場の現状や課題に基づいた実効ある学力向上の取組を充実させることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●少人数構成による学力向上プロジェクト推進委員会の組織づくり ●各学校の学力向上プロジェクト担当者と人権・同和教育担当者による学力向上プロジェクト推進委員会の設置
	課題	◆学力向上プロジェクト合同会議の充実のために、重点的な内容毎に、小委員会構成にし、より機能的な合同会議組織に改編する必要がある。
課題対策の 具体化	教員の指導力向上へ向けて、研修会の実施とその充実を図る	

実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆教員の授業力向上と職能成長に応じた教職員研修が実施できた。 <ul style="list-style-type: none"> ●教科等研における公開授業を通じた授業研究会の全部会での実施 ●校内授業研を中心に言語活動を位置づけた授業実践の広がり ●12月に市内全教員を対象とした学力向上プロジェクト研修会を実施 (田川市の子どもたちの課題の共有化) ●2月に管理職・教務・研修担当者を対象とした学力向上研修会の実施 (学力学習状況調査結果から明らかになった課題と課題克服のための具体的な方向性の確認)
	課題	◆公開授業や授業研で示された優れた実践が、他の学年・学校へと広がっていくことが少ない。優れた実践をデータとして蓄積し、市内の教員が共有化できるようなデータベースづくりが必要である。
課題対策の具体化		少人数指導の実施と検証について取り組む
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆市費負担教員の配置等により、小学校1年から4年、中学校1年から2年においては35人以下の少人数学級編成や少人数指導が行え、個に応じた指導の充実を図ることができた。 <ul style="list-style-type: none"> ●国語や算数・数学を中心とした習熟度別学習の実施校の広がり ●ユニット制などを含む少人数分割による行き届いた指導体制の充実 ●複数の関わりによる支援体制の充実
	課題	◆講師研修会等をより充実し、すべての教員の実践的指導力向上をめざす必要がある。 また、市費負担教員による市内小・中学校の全クラス35人以下学級の実現をめざす必要がある。
総合評価		<p>【B 概ね良好な結果が得られた】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市費負担教員の配置増により、個に応じた指導体制が充実した。 ◆学力向上プロジェクトアンケートの実施や各種研修会等により第Ⅱ期までの成果と課題が明らかになった。

[重点施策] よりよい生き方をめざす心の教育と体力づくり

主要課題	よりよい生き方をめざす心の教育と体力づくり
担当課	学校教育課
課題対策の具体化	道徳教育の充実と規範意識の育成
実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童生徒に基本的な倫理観や規範意識、生命尊重などの基礎となる道徳性の育成を図ることができた。 <ul style="list-style-type: none"> ●体験的な活動とつないだ道徳教育の実践の広がり ●「心のノート」「かがやき」「あおぞら」等教材の計画的活用 ●キャリア教育とつないだ道徳学習の充実

	課題	◆道徳教育の要となる道徳の時間のさらなる充実が必要である。発問や効果的な板書の仕方等、教員の実践的指導力育成のため、教科等研道徳部会や道徳サークル研の研修の充実が必要である。
課題対策の具体化		多様な体験活動を通して達成感・自己有用感を高め、社会貢献等のよりよい生き方をめざす意欲を培う
実績	成果	◆新学習指導要領の改訂の趣旨をもとに、地域資源（ひと・もの・こと）を生かしたボランティア活動や福祉体験、自然体験を教育課程に位置づけ、取組の充実を図ることができた。
	課題	◆小・中のつながりを大切にされた系統的なキャリア教育、体験活動プログラムの充実を図っていく必要がある。
課題対策の具体化		人権を大切にする教育とその啓発
実績	成果	◆児童生徒の実態から明らかになった課題をもとに、人権・同和研修会を実施することができた。 ●児童生徒の課題を受けて、校区として学習会を実施 ●管理職、人権・同和担当者を対象とした市としての人権・同和研修会の実施 ◆鎮西中校区では、人権教育地域推進事業の研究発表会を実施し、これまでの取組の成果と今後の方向性を明らかにすることができた。 ●9か年を見通したキャリア教育の実施 ●地域の教育力を生かした人権・同和教育の推進
	課題	◆指導者の世代交代の時期に差し掛かろうとしている中、教える側の教員の人権感覚や認識を高めるための研修の充実にも努めなければならない。
課題対策の具体化		生徒指導に関する組織の強化と保護者・地域・関係機関との連携
実績	成果	◆各学校のいじめ・不登校・非行等の問題の実態や状況、対応策などを協議する補導主事主任研修会を定期的開催し、未然防止の取組や問題の早期発見や早期対応に努めることができた。 ◆PTAや校区活性化協議会等と連携した校外補導の実施や情報交換が定着しており、課題に対し連携して協同的に取り組むことができている。
	課題	◆学校サポート協議会を各中学校区で設置する等、地域や関係機関との連携をより強めた取組が必要である。
課題対策の具体化		食育、体育を通して食習慣、運動習慣の向上と体力づくり
実績	成果	◆各学校の体力診断テスト実施による実態把握のもと、体力向上プランを策定し、各学校の実態に即した体力づくりに取り組むことができた。 ◆PTAや保護者と連携した「新家庭教育宣言運動」に引き続き取り組み、生活習慣の改善等に努めることができた。 ◆よりよい食習慣づくりをめざして、小・中学校家庭科における食事づくり、弁当づくり等の取組を充実することができた。
	課題	◆体力向上をめざして作成されている体力向上プランの効果を高めるため、体力向上プランの重点的取組を明らかにし、実践していく必要がある。

総合評価	【B 概ね良好な結果が得られた】 ◆様々な問題に対して地域や保護者と連携した取組が行えた。
------	--

[重点施策] 地域に根ざした幼稚園・保育園（所）・小学校・中学校の連携推進

主要課題	地域に根ざした幼稚園・保育園（所）・小学校・中学校の連携推進	
担当課	学校教育課	
課題対策の 具体化	幼稚園・保育園（所）・小学校との連携による、子どもたちの基本的な生活習慣の確立	
実績	成果	◆幼稚園・保育園（所）・小学校・中学校の教員等による市内合同研修会を実施して、子どもたちの実態や課題の共有を進めた。 ●就学前実態調査の実施と課題の確認 ●課題から就学前教育、小学校の課題とその解決方法の協議
	課題	◆保護者を含めた具体的支援策の検討・実施が必要である。
課題対策の 具体化	小学校・中学校の連携による基礎・基本的な学力の定着と個性の伸長	
実績	成果	◆学力実態にみられる課題を把握するために、校長・教頭・教務主任等の研修会を実施した。 ●市独自の实態調査の実施 ●学力向上プランの作成と検証 ●中学校区ごとの合同研修会の実施
	課題	◆市内小・中学校では、小中連絡会、小中授業公開、小中交流授業など様々な取組を進めている。小学校と中学校の連携は確実に充実してきているが、今後は、PTAなど関係団体とともに、より連携を深めていく必要がある。
課題対策の 具体化	幼稚園・保育園（所）、小学校、中学校と県立大学等との連携の深化	
実績	成果	◆幼稚園・保育園（所）・小学校・中学校がそれぞれで県立大学が有する知的・人的な財産を活用して、各校の課題克服に向けた取組を進めていった。 ●ボランティアの学生による現場体験 ●性教育など県立大の専門性を生かした授業 ●薬物乱用防止教育の実施 ●中学校区活動に向けた組織への県立大学としての参加 ●3歳児保育カリキュラムの研究
	課題	◆就学前教育機関や小・中学校では、県立大学との連携が進んできているが、県立大学との距離が近いところほど活発に行われているのが実情である。連携しやすいところはより連携の質を高め、連携が少ないところも工夫を行い、地域に根ざした連携を通して学校や校区の活性化を図る必要がある。

総合評価	<p>【A 著しい成果が得られた】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学校と家庭、地域との連携体制は毎年少しずつではあるが前向きに取り組まれてきている。今後とも、地域に根ざした学校づくりを進めていきたい。 ◆歴史の長い小・中連携、学校評議員連絡会議、校区活性化協議会などは、田川市の強みであり、特色であることから、さらに有効な活用を進めていきたい。
------	---

[重点施策] 子どもたちの健やかな成長を願い、地域と連携する教育及び教育環境の整備

主要課題	子どもたちの健やかな成長を願い、地域と連携する教育及び教育環境の整備	
担当課	学校教育課	
課題対策の具体化	各校区の教育課題の克服をめざす学校と地域との連携を深める	
実績	成果	◆各校区では、地域と連携して自主防犯活動や安全活動を進めてきている。さらに、校区活性化協議会などの協力を得て、花壇や校舎内環境の整備が進んでいる。
	課題	◆登校時は、多くの人数のボランティアにより安全な体制が確立されているが、下校時の安全確保が十分でない箇所もある。今後の検討課題である。
課題対策の具体化	学校評議員との連携と外部評価の積極的な活用を図る	
実績	成果	◆学校評議員と関係機関との連絡調整及び学校評議員相互の情報交換と研修等を行うことを目的として、平成17年度に「田川市立学校学校評議員連絡会議」を設立した。この連絡会議は年2回開催し、1回目は校区の課題について情報交換と協議を行う。もう1回は、大学講師等を招いての講演会を行っている。地域に開かれた学校づくりを推進するためにも、学校評議員への情報提供と情報共有は不可欠である。
	課題	◆今後は学校外部評価を積極的に進める必要がある。そのためにも、学校評議員の中に、外部から客観的に評価判断できる人材、例えば教育学を専門とする大学講師等の検討などを視野に入れて選任する必要がある。
課題対策の具体化	校区活性化協議会などの関係機関と連携し、子どもの健全育成に努める	
実績	成果	◆各校区では、校区活性化協議会を中心とした地域ボランティアによる自主防犯・安全活動を実施している。どの校区でも実施されているのは、毎朝登校時の安全立哨・交通安全指導である。これは、校区活性化協議会役員だけでなく、教員・PTA・老人会・地元有志など多くのボランティアによって行われている。また、校区によっては、青パトによる巡回、定期的な夜間の巡視などを行っている。

	課題	◆登校時はかなりの人数のボランティアにより、安全体制が確立されているが、下校時は下校時間帯が広範囲にわたるため、1校区を除いて安全立哨がほとんどない状態である。下校時の立哨時間帯が一般社会人の勤務時間帯にあたるため、立哨が困難と思われるが、今後の検討課題である。
課題対策の具体化		安全面・健康面及び環境に配慮し、質の高い教育に取り組むための教育環境の整備
実績	成果	◆市内各学校で、校区安全マップを作成し、点検と改定を行い、地域住民と安全点検を進めた。PTAと校区活性化協議会との協働により、学校や校区の美化活動を推進した。
	課題	◆校区安全マップの改定は年1回ではなく、随時実施する必要がある。
課題対策の具体化		進路指導の充実と奨学金制度の周知
実績	成果	◆全小・中学校で、校務分掌にキャリア教育担当を位置つけた。 ◆小学校では、各教科や道徳、総合的な学習の時間、特別活動など、それぞれの特質を生かしながら、キャリア教育を実施した。 ◆中学校では、1年生で実施している「進路適性検査」(市費負担)等も活用しながら、キャリア教育を実施した。 ◆特に中学校では、職場体験活動を一番の柱として取り組ませ、活動後も振り返り(評価)を大事にしている。 ◆奨学金制度の通知については、学校、広報たがわ、ホームページへの掲載を通じて実施し、制度の浸透を図った。
	課題	◆平成24年度からは全小・中学校で「キャリア教育全体計画」が作成されるため、その全体計画に基づき、キャリア教育を充実しなければならない。 ◆選考基準の公開について、検討が必要である。
課題対策の具体化		学校予算の弾力的な活用推進
実績	成果	◆平成23年度は、これまでの消耗品費や修繕料、備品購入費などの従前からの固定した費目の枠内で予算を要求する傾向を改善するため、予算編成の在り方について各学校の理解を図った。
	課題	◆学校の教育目標の実現に向けて、何をやるか(事業)を問い、その事業を推進するために、どんな予算費目が必要かを考えるという仕組みを構築することが必要である。 ◆事業型予算要求についての理解を図らなければならない。
課題対策の具体化		改訂中学校学習指導要領実施に向けての教育条件整備
実績	成果	◆平成24年度の改訂中学校学習指導要領完全実施に向けて、市として教育課程編成作業を行い、市の基底カリキュラムづくり・各学校のカリキュラムづくりを行うことができた。 ◆中学校の体育科で新たに導入される武道の指導に関する講師研修会(市内体育科教員全員対象)を10回実施した。また、武具を揃えるための予算化もできた。

課題	◆新学習指導要領に対応した教材や教具の整備を充実していく必要がある。
総合評価	【B 概ね良好な結果が得られた】

[継続課題] 特別支援教育の充実

主要課題	特別支援教育の充実
担当課	学校教育課
課題対策の 具体化	特別支援教育の充実をめざした諸条件の整備や教職員研修の深化
実績	成果 ◆特別支援教育支援員制度を有効活用できる学校体制を確立し、個の実態に応じたきめ細やかな支援を行うことができた。 ●それぞれの特性に応じた対応や学びの支援 ●担任や関係者との協同的な支援 ●個別の教育支援計画、指導計画に基づく児童生徒への支援
	課題 ◆特別支援教育支援員の各学校からの設置要望は多いが、全ての要望に応えることができておらず、支援員制度の拡充が必要である。
課題対策の 具体化	個々の障害に応じた適切な指導計画の作成による特別支援学級の経営
実績	成果 ◆特別支援学級に在籍する児童生徒をはじめ通常学級に在籍する児童生徒で、特別な支援が必要な場合については、個別の教育支援計画・指導計画を作成し、個々の障害に応じた適切な指導の充実に努めることができた。 ●特別支援学級担当者を対象とした指導と評価に関する研修の場の設定 ●特別支援学級担当者研修会での情報交換と改善策の検討
	課題 ◆個々の障害に応じた指導計画に基づく指導と評価の在り方や評価簿・通知簿の検討を行っていく必要がある。
総合評価	【B 概ね良好な成果が得られた】 ◆特別コーディネーター制度も徐々に定着してきており、各学校の特別支援教育の研修や個に対する指導の充実が見られるようになってきている。

[継続課題] 社会の変化に対応した教育の推進

主要課題	社会の変化に対応した教育の推進
担当課	学校教育課
課題対策の 具体化	オルネット田川の活用と教育の情報化の推進

実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆研修会の実施により情報教育推進者が育成できた。 ◆学校のホームページが充実した。 ◆学校ICTの導入により、教員用パソコン・プロジェクター・ペン型電子黒板・実物投影機等を活用し授業を行うことで児童生徒に具体的なイメージを持たせることができ、学力向上に寄与することができた。
	課題	◆各学校においては、複数の情報教育に堪能な教員の育成を行っていく必要がある。
課題対策の具体化		国際理解教育の推進及び外国語教育の充実
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童生徒の外国語活動及び外国語科における知識・理解、コミュニケーション能力の育成を図ることができた。 ◆外国語指導助手（ALT）の活用により、実践的コミュニケーション能力の育成や外国の文化の理解を進めることができた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆留学生や外国籍住民等が地域にほとんどいないため、外国語の積極的活用と国際理解教育を推進していくことが難しい。 ◆田川市雇用のALTが1人であるため、市内17校に十分な時間を派遣することができない。
総合評価		【B 概ね良好な成果が得られた】

[継続課題] 幼児教育の充実

主要課題		幼児教育の充実
担当課		学校教育課
課題対策の具体化		後藤寺幼稚園
実績	成果	◆教育委員会、緊急課題検討委員会、新園の在り方協議会などでの活発な協議が進められた。後藤寺幼稚園職員、保護者への説明会を開催し、理解と協力要請を行ってきた。また、保護者アンケートを実施して、保護者のニーズの把握に努めた。
	課題	◆平成24、25年度には後藤寺小学校の教室を使用した状況が続く。平成26年4月の新園開園をめざし、市民、職員、保護者、地域への理解を得ていく必要がある。
課題対策の具体化		幼稚園教育課程の実践的研究による教育内容の充実
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆幼稚園内での授業研究や、3歳児保育にかかわるカリキュラム研究などを県立大学の協力を得て行ってきた。 <ul style="list-style-type: none"> ●授業力向上に向けた研修会の実施 ●3歳児保育カリキュラムの検討

	課題	◆県立大学の協力を得て、平成25年度末までに3歳児保育カリキュラムの継続検討を進めていく必要がある。
課題対策の具体化		幼稚園・保育園（所）と小学校の連携強化
実績	成果	◆各小学校に就学前教育担当の窓口職員を決め、就学前教育機関との具体的な連携を図ってきた。 ●各校区における就学前教育機関と小学校の連絡会議の開催 ●小学校職員による1日保育士体験研修の実施 ●入学予定児童に関する連絡会の実施 ●小学校体験授業の実施
	課題	◆就学前教育機関と小学校の具体的な連携は、各校区が主に実施してきた。市内研修会などで取組の実例などを提示して、より積極的に取り組んでいけるようにする必要がある。
総合評価		【A 著しい成果が得られた】 ◆就学前教育機関と小学校との連携は、年々充実したものとなってきており、小1プロブレムの解消には大いに役立っている。しかしながら、社会環境の変化などから保護者の意識も変わりつつあり、保護者のニーズを確実に把握することと保護者啓発に向けた取組を充実する必要がある。

[継続課題] 学校適正規模の検討

主要課題		学校適正規模の検討
担当課		学校教育課
課題対策の具体化		適正な通学区及び統合問題に関する継続的な検討
実績	成果	◆猪位金校区小中一貫校 平成23年10月に「学校適正規模推進（小中一貫校）に関する基本方針」を決定。 ●猪位金小・中学校の統合による、施設一体型小中一貫校を設置する。 ●平成26年4月を目標とし、できるだけ早い時期の開校をめざす。 ◆校区再編及び統合の検討 平成23年6月「田川市学校適正化規模推進について」の方針決定 ●「田川中学校と中央中学校の統合」については、長期構想にある通学区の矛盾を解消する校区再編、1小学校1中学校の校区再編を併せて、田川市全体の校区再編案を検討していくこととする。 ●教育委員会の最終結論は平成24年度中を目途としたい。
	課題	◆田川市全体の統合については、現状把握と問題点について整理を行い、統合についての検討を行う必要がある。 ◆小中一貫校の設置については、地元の十分な理解を得なければならない。 ◆跡地利用の検討は遅滞無く開始しなければならない。
総合評価		【B 概ね良好な成果が得られた】 ◆平成18年の審議会答申から時間を要したが、事業を開始することができた。

[継続課題] 放課後児童生徒の健全育成事業の実施

主要課題		放課後児童生徒の健全育成事業の実施
担当課		学校教育課
課題対策の具体化		放課後児童の健康管理、安全確保、情緒の安定
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆指導員の専門性を高めるべく、特別支援を必要とする児童への対応力を向上させるため、講師を派遣し、現場に即した対応の指導や、学校との連携を図るために、現在の児童の状況や、教育についての理解を深めるための研修を実施した。 ◆児童の健康管理については、冷暖房設備が整ったことにより、体調を崩す児童も少なかった。
	課題	◆指導員の専門性を高めるための研修や、人権関係の研修の更なる充実を図らなければならない。
課題対策の具体化		遊びの活動への意欲と態度の育成
実績	成果	◆平成21年度に県事業により、体力を向上させるための「子どもの遊びの実施研修事業」が実施され、その事業で教わった遊びを実践し、遊びを通してのチャレンジ精神や、意欲を培った。
	課題	◆遊びに積極的に参加する児童、しない児童がいることから、指導員側の遊びに関して創意工夫が必要である。
課題対策の具体化		遊びを通しての自主性、社会性、創造性の育成
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童クラブでは異学年で生活することから、児童同士が自然と仲良くなれるような遊びを実施し、スムーズに関われるようにした。 ◆集団生活のルールや、みんなで話し合いをして、自主的にみんなで楽しく過ごすためにどうしたらよいかを考える機会を作り、社会性の育成を図った。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆異学年の集団構成のための適切な指導 ◆児童間におけるお互いの思いやりや気配りなどの人権意識の育成 ◆学年に応じた適切な指導の充実化
課題対策の具体化		放課後児童の遊びの活動状況の把握と家庭との連携
実績	成果	◆児童クラブの活動中に児童の間でトラブルが発生した場合は、必ず保護者に報告し、必要があれば、小学校へも報告をしている。 その児童に対してもそのことがどういうことなのかを理解させるための指導を行っている。時には、児童全員にとって必要なことであれば、みんなで考える機会を作り話し合ったりしている。また、どのような対応をするべきかを指導主事からの指導を実施した。

	課題	◆保護者との信頼関係の構築 ◆家庭の教育力低下による児童の問題行動の発生
課題対策の具体化		地域人材を活用した魅力ある部活動の推進
実績	成果	◆体力アップアドバイザー派遣事業を活用し部活動の充実につなげることができた。また、テニス、バスケ、野球、卓球、剣道等地域人材を活用した部活動が市内の半数程度の学校で実施できた。
	課題	◆地域人材のほとんどがボランティアであり、人材確保の面から地域人材の支援の輪を広げていくことに課題がある。
課題対策の具体化		その他放課後児童生徒の健全育成上必要な活動
実績	成果	◆学校と児童クラブは同じ児童を預かっている。事務移管され期間が経過したことにより、学校との連携もさらに充実化されてきた。
	課題	◆学校と児童クラブの連携についての意見交換
総合評価		【B 概ね良好な成果が得られた】 ◆学校と児童クラブは違うものであるが、同じ児童を預かり、教育や指導をしている。児童クラブでは、主に異学年での集団生活となる。異学年で集団生活をするのは、なかなか難しく、指導も難しい。以上のことから指導員のさらなる研修の実施や、学校との連携の充実化を図っていきたい。

[継続課題] TAGAWAコールサイン・フェスティバルへの協力

主要課題		TAGAWAコールサイン・フェスティバルへの協力
担当課		学校教育課
課題対策の具体化		TAGAWAコールサイン・フェスティバルへの参加・協力体制の確立
実績	成果	◆定例校長会などを通じ、学校行事との重なりを避け、教員・児童生徒のコールサイン・フェスティバルへの積極的参加を要請した。その結果、児童生徒の半数前後が参加することができた。
	課題	◆今後とも、学校行事とコールサイン・フェスティバルの日程が重ならないようにする必要がある。
課題対策の具体化		郷土の誇りや自律・自立を学ぶ学校全体の体制の確立
実績	成果	◆各校とも、総合的な学習の時間を中心に地域の方々をお呼びして、郷土の誇りをもつことができている。また、学習面、生活面でも主体的に活動する教育を重点的に推し進めている。

	課題	<p>◆学校だけでなく、家庭や地域との連携が重要であり、定期的な会合をもち、実情と課題、課題解決の方策を共有していくことが大切である。</p> <p>◆田川みらい科の平成26年4月の試行開始に向けて、準備を進めていく必要がある。</p>
総合評価		【A 著しい成果が得られた】

[教育研究指定事業などの推進]

主要課題	教育研究指定事業などの推進	
担当課	学校教育課	
課題対策の具体化	「第Ⅱ期学力向上プロジェクト」の研究発表と総括	
実績	成果	<p>◆第Ⅱ期学力向上プロジェクト報告会は、本年度の弓削田中校区（弓削田小・弓削田中）と後藤寺中校区（後藤寺小・大浦小・後藤寺中）で行えたことにより、市内全校区で報告会を終えたこととなった。授業改善の指針に基づいた授業づくりに取り組みながら、その成果を市内の教員全員参加の中で明らかにするなど、相互の研修を深めることにつながった。</p>
	課題	<p>◆第Ⅲ期学力向上プロジェクトでは、第Ⅱ期までの成果と課題を整理しながら、より教育実践活動が充実するようにプロジェクトの組織改編や実態調査の内容検討などを行う必要がある。</p>
課題対策の具体化	国、県、諸団体による各種指定校における研究推進の充実	
実績	成果	<p>◆文部科学省指定「鎮西校区～人権教育推進地域事業（3年次）」において、まとめの研究発表会を実施し、地域や就学前・小・中・高とも連携した取組の成果や課題、今後の方向性を明らかにすることができた。</p> <p>◆福岡県金融広報委員会委嘱「猪位金小学校～金銭教育」において、発表会を実施し、ものやお金の大切さ、勤労を尊ぶ考え方の育成をめざした実践報告がなされた。</p>
	課題	<p>◆校種間連携や地域連携による実践の有用性が示された人権教育推進事業を引き続き田川地区で広げ深めていく必要がある。また、金銭教育も引き続き内容面を充実させていく必要がある。</p>
課題対策の具体化	県PTA連合会家庭教育支援事業及び県アンビシャスふくおか家庭教育宣言事業の推進	
実績	成果	<p>◆田川市PTA連合会と連動し、田川市内全小・中学校で福岡県アンビシャス運動「ふくおか新家庭教育宣言運動」に取り組むことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●早寝、早起き、朝ご飯の取組 ●脱メディア漬け運動の取組 ●家庭学習習慣化の取組

	課題	新家庭教育宣言運動の実施率の向上や内容面での充実をめざし、児童生徒の生活・学習習慣の改善を図る必要がある。
総合評価		<p>【B 概ね良好な成果が得られた】</p> <p>◆教育研究指定事業の推進などにより市内の課題や取組の方向性が教員全体で共有化することができている。</p>

平成23年度 田川市教育委員会 自己点検・評価シート

[重点施策] 第Ⅲ期学力向上プロジェクトへ向けて、第Ⅱ期の総まとめと組織の充実
及び教員の指導力の向上

主要課題	教員の資質向上をめざした研修会等の充実を図る	
担当課	教育研究所	
課題対策の 具体化	委嘱研究員を募り実践研究の深化を図るとともに、研究サークルの育成を推進し、研修活動への助言と援助に努める 筑豊地区教育研究所連絡協議会の主催する教育実践研究研修会の充実を図り、研修員の資質向上に寄与する	
実績	成果	◆平成23年度は教育実践研究員（筑豊教育事務所）2人・田川市委嘱研究員3人の計5人の先生方に実践論文を書いていただいた。各小・中学校の校長・教頭先生の声かけで研修活動ができ資質向上に寄与することができた。
	課題	◆30代の大部分の先生方が一度は教育実践研究員になっており該当者が少なくなった。今年も昨年同様の人数である。今年度は新採9人で若い教員が増えつつあり、来年度から初任者以外からも論文作成に取り組ませたい。
課題対策の 具体化	教員の研修意欲を高める資とするため、教育実践研究の募集、及びその所感集を発刊する 教育実践研究応募者や長期研修員の研究成果を教育委員会の行う教育研究発表会を通して公表する	
実績	成果	◆昨年の長期研修は、福岡県教育センターが1人・社会体験研修が1人の計2人であった。研修した先生方の実践発表の公表の場がとれ、本人の今の実践を見直す効果と、他の先生方の教育実践へのいい刺激になり、研修意欲を高めることができた。
	課題	◆本年度は、福岡県教育センターが1人・社会体験研修が1人・3か月専門研修が1人の計3人であった。毎年、附属小学校・福岡県教育センターでの長期研修員を出してほしい。このことが先生方の研修意欲を高めることにつながる。
課題対策の 具体化	教員の研修意欲の向上と実践を通じた教育課題の克服に寄与するため、田川市教科等研究会の運営に参画する	
実績	成果	◆年間3回の教科等研究会を実施できた。第1回目に年間計画を立て推進員を決め教科・道徳・特活と、どの部会も授業研究をし、反省会をもち、その年度の成果と課題をまとめ、冊子にまとめ仕上げるができている。
	課題	◆部会員は教員の主体性を重視した希望制のため、少人数の部会ができてしまう。このことは部会所属を希望制にするという原則を堅持しながらも実態に即して柔軟に対応することで克服している。部会によっては、部会員数や活動内容によって小・中合同の取組も進めている。
課題対策の 具体化	教育課題の認識と問題解決意識の育成や指導技術の向上を図るため、教育講演会や実技講習会を開催する。	

実績	成果	◆実技講習会（体育・図工・理科・コンピュータ）は、一昨年同様の教科で行われたが、中身は、年々新しく、工夫された教材教具で楽しい実技講習が行われていた。教育講演会は、『学力向上の取り組みについて』の講演会が行われた。わかりやすく、すぐに実践できるような内容のすばらしい講演だった。
	課題	◆実技講習・講演会…どちらも先生方の感想やアンケートから考えると、「楽しかった」「わかりやすく明日からの学級活動で生かせる」「もう少し聞きたかった」という内容のものが多く評価が高かった。「他行事と重なり参加できなかった」という先生もいる。
総合評価	【A 著しい成果が得られた】 ◆学校行事の忙しい中、たくさんの先生方が参加できる日程を工夫するが、なかなかいい日が見つからない。夏休みの実技講習にしても8/10～8/20は計画しにくく8月の前半と後半とで計画するので、どうしても学校行事や出張と重なってしまう。「参加したいがどうしても参加できない。資料だけでも送ってほしい」という先生もいるので、参加できなかった学校へは、資料を送っている。	

主要課題	調査研究の充実を図り、教育課題解決のための手立てとしての資料提供に努める	
担当課	教育研究所	
課題対策の具体化	研究所運営に関するアンケート調査等を通じた要望や教育現場の教育活動推進に関する要望を踏まえた調査研究を実施する 学校教育及び生涯学習の充実を期する調査研究や教育行政施策推進上の教育課題克服に関する調査研究を行う	
実績	成果	◆子どもたち、そして、その保護者に、「児童・生徒の家庭や学校生活に関する調査」「コンピュータや携帯電話に関する調査」についてアンケートをとった。学力向上の総まとめの年となり、学力の基礎となる基本的な生活習慣の定着状況や携帯電話に関する使用等について学校や家庭での状況を正しく捉えることができた。
	課題	◆家族とのコミュニケーションでは、まだまだ改善していく必要があると感じた。まずは、いつでもどこでもできる「あいさつ」を家族で取り組んでみてはどうだろうか。コンピュータや携帯電話については、家庭だけでなく、学校でも人権教育・道徳教育等…、便利になったら便利になっただけの約束事やルール・マナーが必要になってきたと言える。
総合評価	【B 概ね良好な成果が得られた】 ◆「児童・生徒の家庭や学校生活に関する調査」「コンピュータや携帯電話に関する調査」児童生徒用、保護者用（小4・小6・中2 計1,299人） ◆4年前の田川市アンケートと比較してみると、家庭や学校生活では満足しているという児童生徒は増えてきている。しかしコンピュータや携帯電話については、児童生徒の様子をしっかりと見つめ、話し合い指導していく必要がある。	

主要課題	学校・学級不適應や生徒指導上の諸課題への対応の充実を図る
------	------------------------------

担当課	教育研究所	
課題対策の 具体化	適応指導教室の運営と不登校問題への対応を充実する	
実績	成果	<p>◆昨年度は中学生8人・小学校2人の計10人でした。2人の指導員で担当。</p> <p>◆在籍学校の校長や担任・保護者等と連携を取りながら、その時々での対応で工夫していた。教科・特別活動・体験学習を重ねる中で、厳しかった目も、日がたつにつれて穏やかな生活態度になり、顔も明るく落ち着いてきた。</p>
	課題	<p>◆適応指導教室は田川市総合体育館の中にあり、子どもたち独自での登下校はちょっと難しい。小学生はどうしても送り迎えできる児童になってしまいそうである。</p>
課題対策の 具体化	関係学校、福岡県立大学、福岡教育大学等との連携を深め、教育相談の充実を図る	
実績	成果	<p>◆元小学校校長緒方先生（毎週木曜日午後）が行っている。昨年度は延べ件数68件、延べ人数63人である。相談内容の様相としては不登校傾向、学習不適應、教室外登校等が主であった。研究所を中心に工夫し、効果を上げていきたい。</p>
	課題	<p>◆幼・小・中など教育現場からの申込件数は減少傾向である。中学校ではスクールカウンセラーが配置され援助あるいは治療が十分に施されている。家庭内の雰囲気、子どもに与える影響が大きいことに気付いてもらうため、子どもに気兼ねなく話し合ってもらえるよう保護者のみの相談も実施した。</p>
課題対策の 具体化	生徒指導上の諸課題を整理し、教育現場に提供することを通して、学校における生徒指導の充実を図る	
実績	成果	<p>◆一昨年に比べると昨年は対教員暴力-3、児童生徒間暴力-7、器物損壊+5、いじめ-1、不登校-3、家出-1、盗難窃盗+3、万引き-1、喫煙+1、飲酒+1であった。田川市教育委員会、校長会・教頭会・補導主事主任会等の取組が中心となり成果が上がっている。毎月の月例報告を研究所で集計し報告書として各会議に提出している。</p>
	課題	<p>◆毎月、生徒指導上の諸問題については、各学校から情報を集め、補導主事主任会、定例校長会で協議していくことで、効果を上げている。昨年度は携帯電話の掲示板等からトラブルが発生することも多かった。</p>
総合評価	<p>【B 概ね良好な成果が得られた】</p> <p>◆関係機関、筑豊教育事務所管内の各学校からの情報、不審者・声かけ事案を集約し、全学校に、その実態を資料提供している。</p> <p>また、各学校と教育委員会・生涯学習課を通して校区活性化協議会青少年育成部会に一部関係情報を提供して取り組んでいる。</p>	

主要課題	資料センターとしての機能を充実する
担当課	教育研究所

課題対策の 具体化	既存教育図書及びビデオ教材等の整理、新規資料の充実を図るとともに、関係機関等の研究紀要（CD）も含め、その活用化を図る	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆新規購入寄贈図書やDVD・VTR等…DVD・VTR（＋7）、図書（＋34） ◆他市町村研究所の紀要（平成22年度分から田川市研究紀要CD化） ◆貸し出しできないが、中学校の新教科書・指導書が入った。 ◆新規購入寄贈図書やCD・VTR等は、随時研究所通信『虹』で紹介 ◆平和教育資料、WISC検査等の貸出しが多くなった。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆福岡県内の他市町村研究所の紀要等も紹介したい。すばらしい実践の論文がたくさん入っている（旧教育庁舎図書室）。幼・小・中より連絡有り次第準備する。 ◆紙芝居も954冊・紙芝居舞台5台とたくさんあり、幼稚園や小学校低学年にも貸し出ししたい（旧教育庁舎図書室）。幼・小・中より連絡有り次第準備する。
課題対策の 具体化	事業や研究の事蹟を取りまとめ、実績報告書を発行するとともに、随時、広報誌（紙）を発行する オルネット田川を利用したホームページを作成し、広報活動を行う	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆調査研究（実態調査）、委嘱研究、研究サークル、夏休み自由研究展、教育相談、適応指導教室、生徒指導、教育実践研究大会等…、教育研究所の事業や実績を実践報告書として発行することができました。 ◆『虹』月2回 年間1号～24号 ホームページに載せている。 ◆研究所報（年2回）、実績報告書、調査研究、研究紀要（第46集CD）等、筑豊教育事務所や福岡県教育研究所連盟（27各研究所）に配布することができた。
	課題	◆一年間の生徒指導のまとめが3月いっぱいかかり、実績報告書の印刷・製本・発行が4月上旬になってしまう。
総合評価	<p>【B 概ね良好な成果が得られた】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆インターネットの活用により図書の貸出しが少なくなったので『虹』等を活用し、貸出しの工夫をしていきたい。 ◆本の紹介や、使えなくなった書籍を整理し、図書室内を活用しやすいようにしていきたい。古い教育書籍等は現在のところ、旧教育庁舎図書室にある。 	

主要課題	学校と連携して、児童生徒の学習意欲を喚起する自由研究活動を実施する	
担当課	教育研究所	
課題対策の 具体化	学校との連携	
実績	成果	◆『夏休み自由研究展』を田川文化センター1階で実施した。土曜日と日曜日、お年寄りの方、近くの小学校児童、保護者と子どもと、学校の先生が来場し、楽しい自由研究展になった。児童生徒は147人、一般の方は193人で、来場者合計では340人であった

	課題	◆出展状況を見ると小学校234点、中学校37点であった。中学校の夏休みは、中体連・受験・部活動といろいろな行事もあるが、もう少し出展数が増えるように声をかけていきたい。また、県小・中学生科学研究展への推薦作品は3点であった。
総合評価		<p>【A 著しい成果が得られた】</p> <p>◆子どもの声から…「他の人たちが、どんな研究をしているのかが見られて、とても楽しかった。」「来年もがんばりたいなと思った。」「友達が見てみたいと思う工夫をしていこうと思った。」</p> <p>◆大人の声から…「夏休みの間に色々な研究をされた児童に毎年感動している。」「それぞれの作品には、工夫があり、勉強があり、素敵だった。」「孫も暑さの中、汗びっしょりで書き上げていた。」「夏休み小・中学生の皆さんは、がんばった。」</p>

主要課題	公的機関紙等を通して、地域や家庭の教育力を高める啓発活動を行う	
担当課	教育研究所	
課題対策の具体化	公的機関紙等の活用	
実績	成果	◆「広報たがわ」には、平成23年度は2月15日号に載せた。昨年度は「児童・生徒の家庭や学校での生活に関する調査・コンピュータや携帯電話に関する調査」を載せた。啓発活動としては毎月2回(No.1～No.24まで)、研究所通信『虹』をホームページに載せている。
	課題	◆『虹』以外のホームページが、いつも遅れがちになっていること。早目の更新を課題としたい。
総合評価	<p>【A 著しい成果が得られた】</p> <p>◆田川市立教育研究所では「皆様に役立ち利用していただくこと」を研究所運営のモットーに努力している。毎年4月はじめに、「教育研究所の運営について」のアンケートで幼・小・中の先生方の要望をお尋ねし、計画を立てている。</p>	

主要課題	福岡県教育研究所連盟等関係機関・団体と連携して、諸事業の充実に寄与するとともに、本市教育の充実に資する	
担当課	教育研究所	
課題対策の具体化	福岡県教育研究所連盟等関係機関・団体との連携	
実績	成果	◆福岡県教育センターや筑豊教育事務所、田川市教育委員会、筑豊地区教育研究所連盟と連携し、研究論文・研修と報告・授業研究等、日常的交流を図り、筑豊地区、田川市の教育研究所運営の活性化及び学校教育の充実に役立てるように頑張っている。
	課題	◆40代・50代が多く、20代・30代の人材育成を始め教育論文、授業研究、学級経営力を身につけるべく中堅教員の育成に力を入れていく。

総合評価	<p>【B 概ね良好な成果が得られた】</p> <p>◆田川市は、あと10年で50代の先生方が退職し、半分以上の学校の先生が入れ替わってしまう。そういう大事な時期にきていることを踏まえ、教育問題研究会や学力づくり研究会を中心に、先輩教員たちにも、これからの田川市の教育現場を考える上で多くの指導を得なくてはならない。</p>
------	--

平成23年度 田川市教育委員会 自己点検・評価シート

[重点施策] 子どもたちの健やかな成長を願い、地域と連携する教育及び教育環境の整備に努める

主要課題	安全面・健康面及び環境に配慮し、質の高い教育に取り組むための教育環境の整備	
担当課	教育総務課	
課題対策の具体化	学校の防犯対策の実施	
実績	成果	<p>◆児童生徒を犯罪等から守るため、伊田小学校の校門に門扉を設置した。また前年度に引き続き、幼稚園や小・中学校において、警備会社による夜間及び休日の機械警備及び巡回警備を実施した。さらに、犯罪の抑止対策として、小学校においては、平日の昼間にも巡回警備を実施した。</p>
	課題	<p>◆警備を行う対象施設が多い。既存の警備方法等について、より十全なものに改善していくため、警備会社と協議する必要がある。</p>
課題対策の具体化	学校施設の整備及び適切な維持管理業務の実施	
実績	成果	<p>◆学校施設の改修 幼稚園や小・中学校の教員からの改修依頼を受け、必要に応じ、施設の整備を実施した。 平成23年度は、後藤寺小学校のブロック積み擁壁補修、猪位金小学校の図書館屋根防水補修、伊田小学校の管理棟防水補修、伊田中学校の生徒昇降口屋根パラペット部補修、田川中学校の屋上防水補修、猪位金中学校の屋内消火栓設備制御盤取替補修及びプールポンプ室ろ過機Z弁取替修理などを行った。</p> <p>◆特別支援教育対象者への対策 障害を持った児童生徒が入学等する場合は、幼稚園や小・中学校の教員からの必要となる施設の改善依頼に応じ、改修を行った。 平成23年度は、後藤寺小学校に手摺りの設置、金川中学校の特別支援教室にアコーディオンカーテンの設置を行った。</p>
	課題	<p>◆学校施設は、古いものが多く、老朽化が進んでおり、今後とも補修等が増加することが予想される。引き続き、点検等を実施するとともに、必要に応じて改修を行っていく。</p>
課題対策の具体化	学校施設の有効活用	
実績	成果	<p>◆校区活性化協議会との連携による地域コミュニティの形成を図るため、世代間交流事業をはじめとする地域の各種行事において、学校施設を活用した。また、スポーツ及びレクリエーション活動を行う団体（学校開放事業）にも、各学校の体育施設を活用した。</p> <p>◆児童生徒の減少に伴い生じた余裕教室は、各学校の特色、状況、ニーズにあわせて、それぞれの機能を持たせ活用した。</p>

	課題	◆より有効に施設の活用ができるよう、学校教育課や、生涯学習課と連携を図り、貸出し状況や、空き状況等の情報を共有化する必要がある。
課題対策の具体化		教育庁舎の耐震化の実施
実績	成果	◆教育庁舎の教育総務課、及び学校教育課が、事務の迅速化及び効率化、並びに市民サービスの向上を図るため、中央公民館（市民会館）への移転を決定した。これにより、教育庁舎の耐震化事業を中断した。
	課題	◆教育庁舎の今後の方向性を検討していく必要がある。
総合評価		<p>【B 概ね良好な成果が得られた】</p> <p>◆学校の防犯対策の実施 今後も、生涯学習課事業の青色パトカーによる防犯パトロールや、地域の自主防犯活動等と連携を図り、児童生徒の安全確保のための取組を実施したい。</p> <p>◆学校施設の整備及び適切な維持管理業務の実施 学校施設の老朽化に伴う改修や、学校現場からの修繕・改善依頼には、概ね対応することができた。児童生徒のためにも、今後とも必要に応じ、安全かつ快適な環境づくりに努めたい。</p> <p>◆学校施設の有効活用 学校施設は、学校運営に支障を来さない範囲で、地域の方々などに活用されている。また余裕教室については、少人数学習を実施するための教室等、各学校の特色、状況、ニーズに応じた活用を行っている。</p> <p>◆教育庁舎の耐震化の実施 耐震化事業を中断したので、評価判断基準に入れていない。</p>

平成23年度 田川市教育委員会 自己点検・評価シート

[重点施策] いつでもどこでも学べる生涯学習環境の充実

主要課題	校区活性化協議会を基盤とした自主的な充実した地域化活動の推進	
担当課	生涯学習課	
課題対策の 具体化	組織の基本体制の維持（公民館部会、青少年育成部会及び社会福祉部会の3部会を維持）	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆校区活性化協議会は、校区住民の総意に基づき、連携強調して事業活動を展開し、もって地域活動の活性化を図ることを目的としている。平成23年度は事務局長会議を4回と、会長・事務局長合同会議を3回開催し、事務局を中心として三部会間の連携を図っている。 ◆各校区5大事業、その他事業、運営評価について、校区担当8人で評価検証を行い、どの校区も積極的に事業を展開していることを確認。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆組織の基本体制については、現状維持とし、今後の活動についても校区担当者が5大事業等に参加し、助言をする。 ◆地区公民館を中心として、青少年、福祉、平和、人権、地域の文化など世代を問わず学び、習える地域活動に取り組む。
課題対策の 具体化	「男女共同参画プラン」と連動した女性の参画の推進	
実績	成果	◆各校区活性化協議会（事務局・三部会）の諸行事には、男女ともに多数参加しており、田川市男女共同参画センターからの呼びかけにも応じて「ゆめっせ フェスタ」等へも参加している。
	課題	◆今後も、各校区活性化協議会（事務局・三部会）へ徹底した周知を行い、積極的な参加を呼びかける。
課題対策の 具体化	地域と学校との協働による特色ある連携事業の推進	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆校区活性化協議会の主な事業は各小・中学校で行われており、教員をはじめ、児童生徒や保護者も積極的に参加している。 ◆近年は、どこの校区でも安全パトロールが実施されており、年1回の地域安全大会においては、児童生徒も参加し連携が図られている。
	課題	◆校区活性化協議会の事務局は各校区の小・中学校を利用している。教員や児童生徒が身近に居るという利点を今後も生かして、更なる連携を図り事業を展開していく。
課題対策の 具体化	地域における家庭教育力の向上をめざした事業の推進	
実績	成果	◆地域で子どもを育てる手法を模索しながら、家庭・地域教育の充実を図るため、校区活性化協議会の公民館部会との連携のもと、各校区の公民館で家庭教育講座が開催された。（開催地区公民館数 3館）

	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の自主的・主体的な活動をめざしているため、講座の開催数が減少傾向にある。 ◆市公連の総会で周知しているが、計画策定の助言及び講師のあっせんなど、行政の関わりが課題である。
課題対策の具体化		子どもの安全確保・青少年の非行防止を中心とした青少年対策室事業の推進
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆各校区活性化協議会と協力し、青色パトカーによる市内巡回活動及び街頭啓発活動を実施、「子どもの安全確保」及び「青少年の非行防止」に向けた取組を行った。成果としては次のとおりである。 ①校区住民の青少年健全育成意識の高揚と犯罪抑止 青色パトカーによる巡回活動により、青パトの存在及び活動内容が、子どもや校区住民に浸透し、青少年の非行防止と不審者等に対する防犯意識が高揚して犯罪抑止に寄与していると思われる。 ②地域行事等の活発化 住民の間で「子どもの安全確保」と「青少年の非行防止」に対する意識が高まったことにより、各校区では青少年健全育成及び非行防止、子どもの安全対策等の活動や行事が活発化している。 <ul style="list-style-type: none"> ●地域住民が主体の「青少年非行防止パレード」の実施 ●下校時間帯の通学路要所におけるボランティアの立哨 ●地域住民と児童生徒の交流を図る各種フェスティバルの開催 ●ボランティア組織独自の青パトによる巡回
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆行政と地域との連携強化 田川市まちぐるみ子ども安全連絡会議の関係機関・団体及び地域住民との連携は緊密化しているが、引き続き充実強化を図っていきたい。 ◆地域の活性化 「子どもの安全確保」及び「青少年の非行防止」活動は、一部地域を除いて、行政主導による部分があることは事実であり、今後は「安全・安心まちづくり団体事業補助金」を活用するなど、積極的に支援し、活性化させることが課題である。 ◆大人と子どもが一体となった地域づくりの支援 地域における様々な行事等が実施され、その内容も回を重ねるごとに充実しているが、今後更に、子ども参加型の地域行事を積極的に支援する必要がある。
課題対策の具体化		地域内のネットワーク構築と社会福祉活動事業の推進
実績	成果	◆社会福祉部会は、民生委員・児童委員や老人会が中心となって組織されているため、地域内のネットワーク構築が図りやすい体制となっている。
	課題	◆ネットワークの構築については図られているが、社会福祉活動の中心的な役割を担う社会福祉部会については、他の部会に比べて独自の事業展開が少ない傾向がある。
課題対策の具体化		各地域の活動状況に応じた公正な補助金配分の実施

実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆各校区5大事業、その他事業、運営評価について、校区担当8人で評価検証を行っている。 ◆補助金の配分については、人口割15%、公民館数割25%、均等割55%、事業実績割5%となっている。 ◆各校区の活動に評価をつけ、公正に補助金の分配を行った。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆各校区の事業について、事業評価の導入により一定のレベルアップが図れたが、地域性による事業の困難性が評価されないなどの問題が表出し評価に矛盾が生じている。そのため、平成24年度からは、従来の人口割(15%)、公民館数割(25%)、均等割(60%)とし、校区の事業・運営については各校区担当者による意見交換及び助言により今まで以上の実績を期待するものとする。
課題対策の具体化		地域活動の創意工夫による自主財源の確保の推進
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆弓削田校区においては「100円募金」という取組により、自主財源を確保している。また、自主財源確保により、補助金のみに頼らず、幅広い予算執行が行えている校区もある。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆自主財源の確保については、地域住民の理解が必要である。 ◆補助金のみで事業を運営している校区が多いが、各校区ともに自主財源の確保は難航しているのが現状である。
課題対策の具体化		広報活動の活性化と事業の促進
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆各校区では、年に数回の校区活性化協議会だよりを発行している。広報紙「広報たがわ」については、毎月15日に地域だよりとして、各校区で行われた事業の様子を掲載し、また田川市ホームページでも8校区の担当者が記事を更新し、多くの市民に浸透されている。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆校区活性化協議会だよりについては、自分の校区だけではなく、他校区の状況も把握しておく必要がある。今後は、校区だよりを、他校区にも配布し参考にしよう。
総合評価		<p>【B 概ね良好な成果が得られた】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆子どもたちの安全が社会問題化している中、学校・家庭・地域のより一層の緊密化が望まれている。そのため関係する諸団体との連携を密にし、青少年の健全育成や、あいさつ・声かけ運動の事業活動を推進する。 ◆区・地区公民館及び公民館未設置区との連携のもとに、地域づくり(生活向上やふれあい・地域環境改善等)に取り組むとともに、三部会事業の活性化を図るため、部会相互の協調協力体制を確立する。 ◆校区の特性や課題を明確に把握し、組織づくり・事業活動の立案や予算編成等を行い、校区住民の連帯と自治意識を高め、主体的かつ積極的に事業活動を推進する。
主要課題	生涯学習の拠点としての公民館活動の推進	
担当課	生涯学習課	

課題対策の 具体化		中央公民館の役割
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆中央公民館は、市民の一人一人がいつでも、どこでも、誰でもが学びあう生涯学習の機会や場を提供し、自立した心豊かな人間形成を支援するよう推進している。 ◆中央公民館で開設している公民館講座、人材バンクについては、受講生は年々減少気味である。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆生涯学習の拠点施設として、市民の教育文化の向上をめざしている。平成23年度は、人材バンク新規講座を4つ開講した。今後も市民のニーズに応えられるような講座を展開して行きたい。
課題対策の 具体化		地区公民館の役割
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆田川市公民館連合会は、平成23年度現在95館の公民館と集会所が登録されている。 ◆地区公民館については、田川市公民館連絡協議会が主体となり、各校区の生涯学習の中心的な役割を担っている。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆各校区の生涯学習の中心的な役割を担っている地区公民館では、公民館を利用した教養講座や、学習会が行われ、地域住民が活用している。今後も、多くの住民に利用促進をしていく。
総合評価		<p>【B 概ね良好な成果が得られた】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆年に1回開催される、公民館運営審議会では、報告だけではなく、協議の場であるべきである。今後は、委員からの意見等も取り入れ、地域住民と一体となり、公民館活動を行っていく必要がある。 ◆家庭や地域の教育力の低下、地縁的なつながりの希薄化等が指摘されているが、各地域の取組に参加し、協力していくことが必要である。

[重点施策] 社会全体で子どもたちを守り、健やかに育む環境の充実

主要課題	次世代を担う子ども・若者の健全育成と家庭教育力向上への支援
担当課	生涯学習課
課題対策の 具体化	子ども・若者健全育成支援推進事業

実績	成果	<p>◆わたしの主張大会 人格を形成する上で重要な時期にある青少年が、日常生活を通じて日頃考えていることを発表することにより、同世代の青少年に社会の一員としての自覚を促し、あるいは目覚めることを期待し、11月19日に田川市「わたしの主張」大会を実施した。また、翌年2月4日、田川市郡の代表者9人が集い田川地区大会を開催。この大会を通じて、青少年の健全育成に対する一般の人々の理解と協力が更に深まるきっかけとなった。</p> <p>◆立入調査 非行防止及び環境浄化を目的に、福岡県青少年健全育成条例に基づく立入調査を7月と11月の年2回実施。市内の書店、ビデオ店等の立入調査を実施し、青少年の非行防止を未然に防止するよう取り組んだ。</p>
	課題	<p>◆わたしの主張大会 大会への参加者が年々減少傾向にある。 この大会を通じて、青少年の健全育成に対する一般の人々の理解と協力が更に深まるきっかけとなるよう周知を強化するとともに、実施会場について検討する必要がある。</p> <p>◆立入調査 青少年の非行防止を未然に防止するため、今後もより一層、関係機関・団体及び地域住民との連携の充実強化を図る必要がある。</p>
課題対策の具体化		家庭教育力向上への支援
実績	成果	<p>◆8月から10月にかけて6回の0歳期教育親子教室を開催。 また、受講生が安心して受講できるよう託児スペースを完備した。子育てに対する考えや悩みをお互いに共有することにより、解決策を見出すきっかけとなった。</p>
	課題	<p>◆限られた予算の中で、子育て中の保護者のニーズに合った講師の選考を行い、親子教室の継続を図りたい。しかし、関心のない親の参加をどのように促して行くか、また、事業実施にあたり財源を補助金に頼っているため、今後事業を継続するために、いかに財源を確保して行くかが課題である。</p>
総合評価		<p>【B 概ね良好な成果が得られた】</p> <p>◆家庭教育講座等各種講演会の実施、「広報たがわ」青少年特集号の発行、「わたしの主張大会」の実施、0歳期親子教室の実施など青少年健全育成、家庭教育力の向上に努めている。</p> <p>◆年期の教育も必要である。サポートしている団体の評価も含んでよいのではないか。</p>

[重点施策] 生涯にわたり楽しめるスポーツ活動の充実

主要課題	生涯スポーツの振興
担当課	生涯学習課
課題対策の具体化	体育・スポーツの推進

実績	成果	◆体育協会・体育指導委員や各関係団体の協力により、健康維持・増進をめざした市民スポーツの浸透が深まり、今後も充実を図りたい。
	課題	◆青少年が田川地域でのスポーツの普及・振興をめざすには、中学校体育連盟と高校体育連盟との連携と協力体制の整備・充実により、地元の中学校や高校での部活動の実施を図る必要がある。また、子どもの体力低下が深刻な状況の中、親と子どもに参加できる体力向上教室等の開催を検討する必要がある。
課題対策の具体化		総合型地域スポーツクラブ事業の推進
実績	成果	◆地域住民のスポーツ活動に関する意識が高まり、スポーツライフも多様化する中、誰もがそれぞれの年齢、体力、技術、興味、目的に応じてスポーツに親しむことができる、「総合型地域スポーツクラブ」を立ち上げるため、平成12年に「後藤寺スポーツクラブ」、平成14年に県立大学を中心とした「EASTクラブ」、平成16年には猪位金中学校区を対象にした「いのっこクラブ」、平成19年には鎮西中学校区を対象にした「L&Sクラブ」、平成20年度には中央中学校区を対象にした「中央スポーツクラブ」を設立し、「いつでも、どこでも、だれもが」をスローガンに自主運営で実施している。
	課題	◆既設、新設予定箇所ともに指導者の育成に苦慮しているため、人材の養成を目的とした研修会の開催が必要である。
課題対策の具体化		各種スポーツの振興
実績	成果	◆体育協会・体育指導委員や各関係団体の協力により、健康維持・増進をめざした市民スポーツの浸透が深まり、今後も充実を図りたい。
	課題	◆子どもの体力・運動能力の向上を図るために、学校における新体力テスト実施への協力やスポーツへの参加機会の提供が必要である。
課題対策の具体化		社会体育施設の整備・充実等
実績	成果	◆体育施設については、指定管理者制度を導入していることにより、経費の節減とともに、年次計画に基づく改修を行った。また、指定管理者主導によるグラウンドの芝生化等機能の充実を図った。
	課題	◆改修等について、経年劣化により、年次計画に挙がっていない修繕が発生している。
総合評価		<p>【A 著しい成果が得られた】</p> <p>◆子どもから高齢者まで、公共体育施設及び地域公民館を活用し、健康増進を目的としてスポーツ教室が実施されている。今後も生涯スポーツの振興に努力していきたい。</p> <p>◆総合型スポーツクラブ事業は、種目も減少し、活動の低下が見られる。これからも、親子スポーツクラブ助成金の活用など、側面からのサポートをいただきたい。また、体育大会については、未経験者でも参加できる種目（ウォーキング大会など）の設置も考えていただきたい。</p>

[重点施策] 自分の人権を守り他者の人権を尊重する地域社会の創造

主要課題	人権・同和教育の推進
担当課	生涯学習課
課題対策の 具体化	人権・同和教育事業及び啓発活動
実績	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地区公民館等人権・同和教育講座及び中央講座の開設 <ul style="list-style-type: none"> ●地区公民館 3回、校区活性化協議会 6回 ●市同教行政会員を対象とした中央講座を12月8日開催（90人参加） ◆社会参加促進事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ●自動車免許取得識字学級の開催（60回、120時間、53人参加） ●識字学級の開催（18学級、延べ234日、468時間、116人参加） ◆子ども会地区学習事業（少年期人権啓発推進事業）の実施 <ul style="list-style-type: none"> ●人権学習 244日 ●英彦山青年の家にて、小学生リーダー研修、中学生合宿研修の開催 ◆社会教育指導員の設置 <ul style="list-style-type: none"> ●地区学習、友の会での指導、助言を行った。 ◆人権フェスタの開催及び人権ポスターの展示 <ul style="list-style-type: none"> ●12月11日青少年文化ホールにて開催（329人参加） ●人権ポスターの展示 ●公民館まつり 10月8日開催 ●人権週間（市役所玄関口） 12月2日～10日開催 ●人権フェスタ（田川青少年文化ホール） 12月11日開催 ●ポスター応募者 小学生37人 中学生25人
	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地区公民館及び校区活性化協議会の人権・同和教育講座の開設が目標値に届かなかった。今後は募集の方法について、検討する必要がある。 ◆国の補助が終了し、県の補助も識字学級や啓発に特化されている。縮小する予算の中で事業の継続を図る。
総合評価	<p>【B 概ね良好な成果が得られた】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆社会参加促進事業の推進、人権・同和教育中央講座の実施、地区公民館等人権・同和教育講座の実施、子ども会地区学習事業（少年期人権啓発推進事業）の実施により人権・同和教育の推進を図っている。

平成23年度 田川市教育委員会 自己点検・評価シート

[重点施策] 市民の豊かな心と創造力を育む

主要課題	豊かな心を育む芸術文化活動を支援する	
担当課	文化課	
課題対策の 具体化	市民文化祭、懐かしの名画祭、こども音楽祭の開催 (田川文化センター・田川青少年文化ホール)	
実績	成果	<p>◆市民文化祭 市民の芸術文化活動である創作発表会を通して団体相互の交流を促進するとともに、市民文化の高揚を図るため、市民文化祭を開催した。</p> <p>◆懐かしの名画祭 文化庁より優れた懐かしの名画を誘致し、一般市民に映画鑑賞の機会を提供した。</p> <p>◆こども音楽祭 市内園児、小・中学校の児童生徒、一般市民などによる楽器演奏、吹奏楽、合唱など日頃の練習成果を発表する場を提供し、園児から大人までの相互の音楽交流と発展に努めた。</p>
	課題	◆市民文化祭、懐かしの名画祭、こども音楽祭、以上三つ全ての行事において、参加者及び参加団体数が増加した。今後も参加者及び参加団体数の増加を目標とし、より効果的な広報活動を行うこと、又、主催団体及び共催団体間の協力、連携を強める等の改善を行う。
課題対策の 具体化	芸術文化体験事業 (田川文化センター・田川青少年文化ホール)	
実績	成果	<p>◆地域の芸術文化活動の向上発展に資するため、関係機関や文化団体等と協力、連携し、本年度は大蔵流善竹家滋芸狂言会を招聘し狂言の「附子」、「柿山伏」を上演した。日頃、接することの少ない優れた本物の舞台芸術を体験する機会を設けることで、青少年のゆとりある心と豊かな感性を引き出し、文化に対する理解の充実を図ることができた。 小学校7校、中学校2校の計9校、999人が参加した。</p>
	課題	◆例年会場が文化センターとなっており、児童生徒は各学校から徒歩及びバスで会場まで移動する必要があるため、文化センターから離れた地域の小・中学校の児童生徒の観覧が少ない。しかし、遠足との併用やバスを手配して参加する学校もでてきたことから、今後より多くの学校に参加を促したい。
課題対策の 具体化	文化団体の育成 (田川文化センター・田川青少年文化ホール)	

実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆文化振興基金 文化団体の育成を図り、文化活動が市民に定着するように支援し、市民の自主的な芸術・文化活動等を奨励するため「田川市文化振興基金」の効率的な運用を図っている。平成23年度は1団体からの申請があった。 ◆田川文化連盟 田川文化連盟は60年以上の歴史を持ち、その活動を通して資質の向上と地域文化の充実発展に努めている。事務業務を一部補助する形で関係団体を支援し、連携強化を図りながら地域に受け継がれた伝統文化、特色ある地域文化の育成に努めた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域に受け継がれた伝統文化、特色ある地域文化をより一層充実させるために田川文化連盟と本市との間で共通の目標を設置し、今まで以上に連携を取り事業活動の企画・運営を行う必要がある。
課題対策の具体化		魅力ある企画展の開催（美術館）
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆絵本や児童文学の世界で楽しい作品を創作し続けている角野栄子の代表作「魔女の宅急便の世界展」を開催し、自筆原稿や挿絵原画などを展示し、参加型の様々なイベントを開催した。 ◆開館20周年企画の第3弾として、福岡県立美術館、福岡市美術館、久留米石橋美術館の収蔵品に当館の収蔵品をあわせ、「福岡県の近代絵画展」を開催した。 ◆福岡を拠点に活動する現代美術家・村上勝と版画家・小川幸一にスポットをあてた「交差する異次元展」を開催し、オブジェとシルクスクリーン版画のコラボレーションを楽しむ展覧会となった。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆「魔女の宅急便展」は知名度もあり、事前にワークショップを行い、連続でワークショップやイベントを開催し、企画としては十分評価できたが、集客が見込みよりも少なかった。 ◆「福岡県の近代絵画展」「交差する異次元展」ともに、十分な準備と作家に対する丁寧な調査で、見ごたえある展覧会となったが、入館者数が伸びず、広報活動等が今後の課題となった。
課題対策の具体化		市民の多様なニーズに応える美術館（美術館）
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆グループ展、個展、コンサート等、市民の文化活動の発表の場として施設利用された。昨年よりも利用数は増え、それによって入館者数も増加した。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆HP等で、貸館利用の展示会についても、内容の紹介を行っている。今後も利用促進を図りたいが、貸館の時期が美術館の企画展の時期以外と限られているので、利用者のニーズの調査をして時期についても検討したい。
課題対策の具体化		教育普及事業の推進（美術館）
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆展覧会ごとに多様な内容のワークショップを開催し、コンサートやお話会等のイベントも開催した。 ◆毎年開催の講座「夜の美術館」平成23年度は「福岡県の近代絵画展」にあわせて、筑前・筑後の画家たちをテーマに行った。

	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆「魔女の宅急便」の連続ワークショップや、「交差する異次元展」の作家によるワークショップは、好評で参加者も多かったが、企画によっては、参加者が少ないものもあり、内容について検討が必要である。 ◆「夜の美術館」講座は、参加者の減少傾向がある。必ずしも企画展にあわせた内容でなく、もっと一般的に興味深い内容を検討する必要がある。
課題対策の具体化		学校教育、他館との連携（美術館）
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆伊田中・鷹峰中・金川小・田川小でそれぞれ異なる内容の出前授業を実施し、その後の美術館での作品鑑賞等につなげた。 ◆先生方が集う研究集会に訪問し、出前授業等教育普及事業について、直接説明の場を設けた。 ◆現場の先生方に、出前授業の内容や実施の方法を理解してもらうために、「田川市美術館教育普及事業案内」を作成し、各学校に配布した。
	課題	◆平成23年度は、上記のように出前授業の回数も目標を達成できたが、今後も継続してできるように、啓発・広報活動に力を入れる。
総合評価		<p>【B 概ね良好な成果が得られた】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆田川文化センター・田川青少年文化ホール 文化事業については、田川文化連盟や田川ロータリークラブの協力連携によって多くの市民が参加する事業が実施できた。すべての行事において参加者数は増加しているが、今後更なる市民文化活動の充実をめざし、事業の充実を図る必要がある。 ◆美術館 企画展の内容や展観については、自己評価できるが、入館者が伸び悩んでいる状況である。広報やイベントの内容に工夫を凝らす必要がある。 貸館については、利用が増えて、それによる入館者も増加した。美術館は美術・芸術を愛好する者に気軽に利用できる施設であることが定着してきた感がある。

主要課題	いつでもどこでも学べる生涯学習環境をつくる
担当課	文化課
課題対策の具体化	子どもに対する読書対策（図書館）
実績	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆子どもの読書への関心を喚起するため <ul style="list-style-type: none"> ●田川市子ども読書推進計画（改訂版）の策定 ●隔週金・毎週土曜日 ボランティア等による絵本の読み聞かせ ●4月24日 子ども読書の日イベント開催（参加者51人） ●10月22日 田川市読書まつり開催（参加者98人） ●夏休み 読書マラソン（参加者535人） ●12月18日 図書館こどもクリスマス会（参加者105人） ◆子どもの読書活動を推進するためのボランティアの育成 <ul style="list-style-type: none"> ●1月24日、2月21日 ボランティア養成講座開催（受講者60人） ◆絵本を媒体として赤ちゃんと保護者のコミュニケーションを推進する事業 <ul style="list-style-type: none"> ●ブックスタート事業 毎月7か月健診時に開催（配布者408人）

	課題	◆各種の行事を通じて、就学前及び児童生徒の読書意欲を喚起している。今後はボランティア団体とのより一層の協働及び広報等で周知に努め、さらなる参加者の増加につなげたい。
課題対策の具体化		市立図書館と小・中学校図書館との連携（図書館）
実績	成果	◆学校図書館協議会との連携 <ul style="list-style-type: none"> ●11月26日 こども童話発表会の開催（来場者115人） ●1月11日～22日 読書感想画展開催（応募者137人 優秀者52人） ●2月9日 読書感想文コンクール優秀者文集配布（応募者102人 優秀者42人） ◆図書館見学の受入れ（6校 343人） ◆図書館職場体験学習等受入れ（8校 23人）
	課題	◆学校図書館協議会との一層の連携拡充が必要である。
課題対策の具体化		図書の資料収集の充実や必要な資料の提供等（図書館）
実績	成果	◆貸出し数 202,460件 ◆受入図書資料 7,143冊 ◆リクエスト件数 5,033件 ◆他図書館との相互貸借 465冊 ◆参考業務受付件数 1,248件 ◆レコードコンサートの開催 月一回延べ223人参加 ◆郷土史市民公開講座（田川郷土研究会と協働）の開催 年4回延べ173人参加
	課題	◆より高度な情報の提供に努める必要がある。
課題対策の具体化		自動車文庫の積極的運営（図書館）
実績	成果	◆自動車文庫貸出し冊数 35,855件 <ul style="list-style-type: none"> ●一般市民を対象にした停留所（31か所） ●学校・保育園・幼稚園や社会福祉施設等（41所）
	課題	◆自動車文庫における貸出し冊数は増加傾向にあるが、新規の停留所等の申請があった場合、日程に余裕がないため、受入れが困難になってきている。
総合評価		【B 概ね良好な成果が得られた】 ◆生涯学習の基地として、子どもの読書活動の推進の場として、利用者へのサービスを提供している。実績としては、空調機器の改修や天候不順等により、貸出し冊数は前々年程度とはならなかったが、前年度より1,170冊の増となった。また、レファレンス回答は約200件の増となった。

[重点施策] 地域の歴史・文化を守り育てる

主要課題		歴史を受け継ぐ文化遺産を保護・活用する
担当課		文化課
課題対策の具体化		博物館機能の充実（石炭・歴史博物館）
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆博物館が所蔵する山本作兵衛コレクションが世界記憶遺産登録されたことにより、様々なメディアで取り上げられ、博物館への入館者や問い合わせ件数が急増した。 ◆急増した来館者に対応するため、博物館内の収蔵室や展示室の一部、トイレの改修等を行った。 ◆筑豊地域の資料館や県内各機関及び釧路市立博物館と連携して、調査・研究を進めることができた。 ◆屋外展示物の一部を補修した。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆館内の床面や電気設備、展示室の壁等、施設の老朽化に伴う改修を行う必要がある。 ◆遺産登録により、炭坑の歴史が注目される今、田川地域を中心とする炭坑文化遺産等の周遊の基点となる機能が博物館に求められており、地域内の関連資料等の歴史や意義、見学の魅力等について来訪者が楽しく理解できるような仕組みを構築する必要がある。 ◆今後来館が予想される外国人観光客向けに、石炭・歴史博物館及び展示資料を紹介するパンフレットや表示などを多言語化する必要がある。
課題対策の具体化		教育普及活動の強化（石炭・歴史博物館）
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆館長講座「炭坑の語り部」、「筑豊の近代化遺産講座」、体験学習「勾玉作り」、「石炭を燃やそう」、文化財探訪(宇部探訪)等、各種講座を実施した。 ◆夏季企画展「ヤマの写真が伝えるもの～橋本正勝写真展」(平成23年7月2日～8月28日、来館者26,470人)や世界記憶遺産登録を受け開催した原画展「山本作兵衛コレクション展」(平成23年9月17日～平成24年3月11日、来館者94,742人)は、いずれも好評を得て、多くの来館者があった。 ◆館報、博物館だよりの刊行物等で普及と活用を図った。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校教育等と密接な連携を図り、若い世代の博物館の活用をさらに充実させる必要がある。 ◆子どもから大人までの幅広い年齢層が歴史や文化を楽しく学べる仕組みを実現する必要がある。
課題対策の具体化		文化財の保護と活用（石炭・歴史博物館）
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆山本作兵衛コレクションの世界記憶遺産登録を受け、炭坑の文化や歴史などに対する住民の関心が高まった。 ◆埋蔵文化財の開発に伴う事前審査、民俗芸能保持団体への助成金等を通じ、市内文化財の効果的な保存活用を図った。 ◆「遠賀川流域古墳同時公開」等を通じて、他市町村と連携した埋蔵文化財の活用に効果があった。

	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆石炭産業関連遺産の保存活用 ◆埋蔵文化財の効果的な保存 ◆指定文化財の効果的な保存活用
課題対策の具体化		国史跡指定への推進（石炭・歴史博物館）
実績	成果	◆伊田坑跡調査指導委員会を開催し、平成24年度、斜坑坑口・竪坑の調査を実施し、翌25年度に全体の報告書を作成することを申し合わせた。
	課題	◆旧三井田川鉱業所伊田坑（竪坑・斜坑）の開坑から閉山までの変遷を明らかにするよう文化庁から要求されている。
課題対策の具体化		山本作兵衛炭坑記録画等の保存活用（石炭・歴史博物館）
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆ユネスコの世界記憶遺産に登録推薦していた博物館所蔵の山本作兵衛炭坑記録画及び記録文書等627点が、平成23年5月25日、正式登録された。 ◆当該記憶遺産の文化財としての重要性及び希少性並びに脆弱性に鑑み、状態調査等を行うまでの当面の間の原資料の適切な取扱い等を定めた基本方針を策定した。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆世界記憶遺産の活用等についてさらなる効果的な推進を図るため、また、山本作兵衛コレクションを通して筑豊地域の炭坑文化を継承するため、それらを研究する体制を整える必要がある。 ◆山本作兵衛コレクションの原資料は、和紙に比べて保存が非常に難しいとされる脆弱な西洋紙（酸性紙）が使用されているため、早急に原資料の保存処置を含めた状態調査を行う必要がある。 ◆山本作兵衛コレクション原資料については、詳細な状態調査を実施した後、その結果に基づく総合的な保存管理計画を策定する必要がある。
総合評価		<p>【A 著しい成果が得られた】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆山本作兵衛コレクションについては、ユネスコの一般指針等に基づき、当該記憶遺産を未来永劫保存・伝承する必要があり、適切な維持管理、博物館運営の充実が求められている。 ◆山本作兵衛コレクションの世界記憶遺産登録により、年間の来館者数が過去最高の149,798人となり、博物館への関心が高まった。

教育委員会会議議案一覧

議案番号	件名	議決日
第9号	田川市立学校管理規則の一部改正について	H23. 4. 7
第10号	平成23年度教育施策方針について	H23. 6. 8
第11号	平成24年春の叙勲候補者について	〃
第12号	平成23年度田川市立学校学校評議員の委嘱について	〃
第13号	学校適正規模について	H23. 10. 26
第14号	田川市社会教育委員の委嘱について	H23. 6. 8
第15号	田川市文化財専門委員会委員の委嘱について	H23. 7. 7
第16号	平成22年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について	〃
第17号	田川市教育委員会事務局処務規則及び田川市教育委員会公印規則の一部改正について	H23. 8. 10
第18号	平成23年度教育費（9月補正）予算要求について	〃
第19号	平成24年度使用中学校教科用図書採択について	〃
第20号	田川市就学指導委員会委員の委嘱について	〃
第21号	田川市美術館条例施行規則及び田川市石炭・歴史博物館設置条例施行規則の一部改正について	H23. 9. 6
第22号	田川市立学校学校司書員の任用に関する規程の一部改正について	H23. 10. 5
第23号	平成23年度田川市教育功労者の選考について	〃
第24号	田川市石炭・歴史博物館等運営協議会委員の委嘱（交代）について	〃
第25号	平成23年度教育費（12月補正）予算要求について	H23. 11. 9
第26号	田川市公民館運営審議会委員の委嘱について	〃
第27号	田川市スポーツ振興審議会設置条例の一部改正について	〃
第28号	田川市体育施設条例の一部改正について	〃
第29号	田川市中央公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃
第30号	田川市勤労青少年ホームの設置及び管理に関する条例の廃止について	H23. 11. 9
第31号	平成24年度田川市立小・中学校県費負担教職員人事異動方針について	H23. 12. 7

第32号	平成24年秋の叙勲候補者の推薦について	〃
第33号	田川市体育指導委員規則の全部改正について	〃
第34号	田川市公民館運営審議会委員の委嘱（追加）について	H23. 12. 27
第1号	平成24年度教育費当初予算について	H24. 1. 11
第2号	田川市立学校管理規則の一部を改正する規則について	〃
第3号	「猪位金校区学校統合委員会」設立準備委員会設置要綱の制定について	〃
第4号	田川市立小中学校の事務の共同実施に関する規程について	〃
第5号	田川市勤労青少年ホーム運営委員会委員の委嘱について	〃
第6号	平成23年度教育費（3月補正）予算要求について	H24. 2. 7
第7号	田川市教育委員会事務局処務規則の一部改正について	〃
第8号	猪位金校区学校統合委員会設置要綱の制定について	〃
第9号	田川市中央公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃
第10号	田川市中央公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について	〃
第11号	田川市勤労青少年ホームの設置及び管理に関する条例施行規則及び田川市勤労青少年ホーム運営委員会規則の廃止について	〃
第12号	田川市体育施設条例施行規則の一部改正について	〃
第13号	指定管理者の指定について	〃
第14号	田川市図書館協議会設置条例の一部改正について	〃
第15号	田川市石炭・歴史博物館等運営協議会設置条例の一部改正について	〃
第16号	田川市社会教育団体登録要綱の一部改正について	〃
第17号	猪位金校区学校統合委員会委員の委嘱について	H24. 3. 5
第18号	田川市美術館条例施行規則の一部改正について	〃

※ 議案番号は、毎年1月を基点としています。

教育委員会会議報告等一覧

【報 告】

報告番号	件 名	議決日
第1号	平成23年度田川市教育委員会職員の任免異動について	H23. 4. 7
第2号	平成23年度田川市立小・中学校、校長・教頭の任免異動について	〃
第3号	教育委員会職員の任免異動について	H23. 8. 10

※ 「報告」とは、田川市事務委任及び臨時代理規則第3条ただし書の規定による報告をいいます。

【事務報告】

番号	件 名	議決日
1	平成23年度田川市立小・中学校教職員人事異動の総括について	H23. 4. 7
2	平成23年度教育委員学校訪問の実施について	〃
3	田川市教育委員会特定事業主行動計画（後期）の策定について	〃
4	学校施設等のアスベスト調査について	〃
5	山本作兵衛氏の炭鉱の記録画並びに記録文書のMOW登録について	H23. 6. 8
6	平成23年度田川市一般会計補正予算について	H23. 7. 7
7	田川市体育施設及び田川市市民プールの指定管理者制度について	H23. 9. 6
8	世界記憶遺産登録原画特別公開「山本作兵衛コレクション展」の開催について	〃
9	旧船尾小学校の施設（校舎一部）転用について	H23. 10. 5
10	平成24年度田川市立幼稚園園児募集について	H23. 12. 7
11	行政事務執行に当たっての職員としての基本姿勢について	H23. 12. 27
12	小学校2年生の少人数学級について	H24. 3. 5

※ 「事務報告」とは、教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務に関して行う報告をいいます。

教育委員研修会等参加状況

開催日	研修内容	主催	場所
H23. 4. 7	福岡県立川崎特別支援学校入学式	川崎特別支援学校	川崎町
H23. 4. 19	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市
H23. 5. 17	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市
H23. 5. 17	管内教科用図書調査研究協議会	管内教科用図書調査研究協議会	飯塚市
H23. 5. 18	福岡県市町村教育委員会女性教育委員第55回研修会	県市教委女性教委研修会	福岡市
H23. 5. 21	田川市川渡り神幸祭協賛グラウンド・ゴルフ交歓大会	福岡県グラウンド・ゴルフ協会	田川市
H23. 5. 27	田川市郡租税教育推進協議会第3回定時総会	田川市郡租税教育推進協議会	田川市
H23. 6. 1	市民と自衛隊との音楽の夕べ	陸上自衛隊飯塚駐屯地	田川市
H23. 6. 14	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市
H23. 6. 25	全日本バレーボール小学生福岡県大会	県小学生バレーボール連盟	田川市
H23. 7. 12	「少年警察実務」職員研修における講演会	警察庁生活安全局少年課	田川市
H23. 7. 14	筑豊地区学校給食会連合会会議	筑豊地区学校給食会連合会	飯塚市
H23. 7. 14	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市
H23. 7. 23	福岡県公立学校等女性教員研修会	県公立学校等女性管理職会	田川市
H23. 7. 31	福岡県剣道連盟田川支部錬成大会	(社)福岡県剣道連盟田川支部	田川市
H23. 8. 3	筑豊地区小学校長会総会・研修会	筑豊地区小学校長会	嘉麻市
H23. 8. 18	福岡県市町村教育委員会連絡協議会教育長部会役員会及び教育長研修会	県市町村教委連絡協議会	大牟田市
H23. 8. 24	福岡県市町村教育委員会女性教育委員第56回研修会	県市町村教委女性教育委員研修会	福岡市
H23. 8. 25	第9回九州地区市町村教育委員研修大会	県市町村教委連絡協議会	熊本市
H23. 8. 26			
H23. 9. 14	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市
H23. 9. 16	福岡県教育施策及び予算の要望	県市町村教委連絡協議会	福岡市
H23. 9. 21	東峰学園、八女市立上陽北ぜい学園へ小中一貫校視察	田川市教育委員会	八女市 東峰村
H23. 9. 25	第3回田川地区青少年健全育成剣道大会	田川警察署少年補導員連絡会長	田川市
H23. 10. 20	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市
H23. 10. 23	第24回福岡県小学生バレーボール筑豊大会	筑豊地区小学生バレーボール連盟	田川市
H23. 11. 6	第5回読売新聞社旗争奪トーナメント大会	日本硬式少年野球連盟	田川市
H23. 11. 25	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市
H23. 12. 5	筑豊地区特別支援教育研究連盟研究大会	筑豊地区特別支援教育研究連盟	田川市
H23. 12. 8	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市

H23. 12. 8	第2回筑豊教育事務所管内人事推進委員会	筑豊教育事務所管内人事推進委員会	飯塚市
H24. 1. 19	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	糸田町
H24. 1. 25	福岡県市町村教育委員会連絡協議会教育委員長研修会	県市町村教委会連絡協議会	福岡市
H24. 2. 4	「わたしの主張」田川地区大会	福岡県青少年育成県民会議	香春町
H24. 2. 5	第45回「福岡県子どもつどい」	福岡県子ども会育成連合会	田川市
H24. 2. 6	福岡県幼稚園新規採用教員研修運営協議会	福岡県教育委員会	福岡市
H24. 2. 9	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市
H24. 2. 9	筑豊市町村教育委員会教育長協議会第3回研修会	筑豊市町村教育委員会教育長協議会	飯塚市
H24. 2. 17	筑豊市町村教育委員会連絡協議会会議	筑豊市町村教育委員会連絡協議会	飯塚市
H24. 2. 22	第3回福岡県市町村教育委員会連絡協議会教育長部会役員会	県市町村教委会連絡協議会	福岡市
H24. 3. 6	福岡県立大学開学二十周年記念式典等	福岡県立大学	田川市
H24. 3. 21	田川地区高等学校同和教育推進中長期プラン2011年度推進学習会	田川高等学校	香春町
H24. 3. 22	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市

教育委員学校訪問日程

【定例学校訪問】

実施日：平成23年5月11日（水）

学 校 名	内 容
伊田小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・校内巡視、授業参観（2時限目） ・学校経営、児童指導状況説明と懇談・指導助言 ・給食試食と参観
伊田中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・校内巡視、授業参観（5時限目） ・学校経営、生徒指導状況説明と懇談・指導助言

実施日：平成23年5月13日（金）

学 校 名	内 容
鎮西小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・校内巡視、授業参観（2時限目） ・学校経営、児童指導状況説明と懇談・指導助言 ・給食試食と参観
中央中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・校内巡視、授業参観（5時限目） ・学校経営、生徒指導状況説明と懇談・指導助言

実施日：平成23年5月23日（月）

学 校 名	内 容
猪位金小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・校内巡視、授業参観（2時限目） ・学校経営、児童指導状況説明と懇談・指導助言 ・給食試食と参観
後藤寺中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・校内巡視、授業参観（5時限目） ・学校経営、生徒指導状況説明と懇談・指導助言

【授業充実学校訪問】

訪問日	学校名	内 容
平成23年6月10日(金)	伊田中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・筑豊教育事務所指導主事による授業参観 ・指導方法、内容等の改善協議会 ・学力向上方策等の学校運営の説明、協議
平成23年10月6日(木)	大藪小学校	
平成23年10月27日(木)	田川中学校	
平成23年11月8日(火)	田川小学校	

(資料5)

田川市教育委員会委員名簿

平成24年3月31日現在

区分	(ふりがな) 氏名	保護者	性別	現在の任期 (委員長職等の任期)	過去の在任期間 (委員長職等の任期)
委員 (委員長)	かしむらあきこ 柏村晶子		女	H21.10.11～H25.10.10 (H23.10.1～H24.9.30)	H13.10.11～H21.10.10 (H21.10.1～H23.9.30)
委員 (委員長職務代理)	かんぎきようこ 神崎陽子	○	女	H20.10.1～H24.9.30 (H23.10.1～H24.9.30)	H16.10.1～H20.9.30
委員	せといくのり 瀬戸郁則		男	H20.10.1～H24.9.30	H16.10.1～H20.9.30
委員	もうりしんいちろう 毛利眞一郎		男	H23.12.25～H27.12.24	H22.1.1～H23.12.24
委員 (教育長)	おがきゆうぞう 尾垣有三		男	H22.10.8～H26.10.7 (H22.10.8～H26.10.7)	H21.7.1～H22.10.7 (H21.7.1～H22.10.7)